

これらの事業は、赤い羽根 共同募金会の助成を受けて 実施しています



## ここから始まる♪



## 1人で悩まないで

### 相談

やりたいこと、生活や仕事の中で困っていること について、ゆっくりお話を伺い、一緒に対応策を 考えます 電話やオンラインでの相談も可能です

## 回復をあきらめない

## リハビリテーション

生活や仕事がやりやすくなること、対人面のストレスが減ること、やりたいことが実現できることを目指しています

実施にあたっては、本人の自発性と安心感を大切 にしています

相談・リハビリの時間は、1回60~90分です

継続的な相談・リハビリテーションでは 1回1,000円の料金がかかります

ただし、初回相談とお試し1回は無料です

## 語り合おう

#### 自助グループcocokara

主に高次脳機能障害のある当事者が中心になって運 営しています

自助グループcocokaraは、ともに学び 理解し合い それぞれの生活に生かす 高次脳機能障害について の『情報交換と対話の場』です

月に1回 (第2日曜日 10:30~12:00) 、前橋市内で 開催しています おしゃべりをしたり、相談したり、イベントも

家族、支援者、一般の方、どなたでも参加できます高次脳機能障害以外の障害のある方も大歓迎です

# お問い合わせ

TEL 0 2 7 (2 2 6) 5 5 1 4 gunma-koujinou@nifty.com

TEL不在時は留守電に「名前」「連絡先」を吹き込んでください 折り返し、ご連絡いたします

## 知ることは支えること

### COZY対話カフェ

多くの人に高次脳機能障害のことを知ってもらいたいと始まった『COZY対話カフェ』 ヒューマンライブラリー(生きている図書館) の形式で行う対話カフェです



ヒューマンライブラリーとは、偏見を持たれやすい人、生きづらさを抱えたマイノリティの立場にある人が、『本』役になってそれぞれの人生話を語り、対話を通じて、相互理解を深めていく催しです

COZY対話カフェの『本』役は、高次脳機能障害 のある人、家族、支援者

『読者』役には、どなたでも参加できます

唯一のルールは『本』を傷つけないことです

開催はホームページにてご案内します

## cocoker®の場所は?

JR新前橋駅西口より徒歩9分の所にあります

新前橋駅から徒歩 ★ の場合

- 新前橋駅西口ロータリーに出る
- ② 線路沿いを前橋駅方向へ進む
- ③ そのまままっすぐ進むと、右側にFelice House (フェリーチェハウス)新前橋様(オレンジ色 の屋根、黄色い壁の2階建てのアパート)が ある
- ④ その前を左折する
- ⑤ 左折して三軒目、左側に白い3階建ての アパートがある
- ⑥ 緑色の階段を上がって2階へ 向かって右側の部屋がcocokaraです





#### NPO法人cocokara

〒371-0844 前橋市古市町563-5 三協ハイツ201号室 TEL・FAX 027(226)5514 メール gunma-koujinou@nifty.com



令和4年9月、任意団体「ぐんま脳損傷者地域拠点 プロジェクト」として、高次脳機能障害のある人が安心 して自発的に通える居場所をつくりたいと活動を始めま した。

令和5年3月、高次脳機能障害のある人の回復と社会 参加を支える居場所cocokaraの運営を開始しました。 令和7年8月、活動をより広げるため、NPO法人 cocokaraを設立しました。

#### 目指していること

- 高次脳機能障害のある人の回復と社会参加を支える
- 高次脳機能障害のある人の役割と味方を増やす

## 会員 募集中です!

私たちの趣旨にご賛同いただける方、一緒に活動しませんか?

ホームページ https://gunma-koujinou.net

しげの くみ 代表理事 繁野 玖美

作業療法士 社会福祉士 臨床神経心理士

東京都世田谷区にて、25年以上にわたって、高次脳機能障害のある人や家族の相談、リハビリテーションに携わってきました





高次脳機能障害のある人の 社会参加と回復を支える場



高次脳機能障害は、病気や事故などの脳の損傷 によって起こります

子どもから高齢者まで、あらゆる年代の人に起 こります

#### 脳損傷後に

「やる気がでない」「怒りっぽい」「集中できない」「同時に複数のことをできない」「片側を見落としやすい」「忘れっぽい」「言葉がでにくい」「行き当たりばったりになりやすい」などの行動が現れたら、高次脳機能障害かもしれません

高次脳機能障害は外見からわかりにくいため、 医療機関でも見逃されてしまうことがあります

学校や職場でも「性格のせい」と誤解されることがあります

しかし、適切なリハビリテーションと安心できる環境があれば、1年、3年、5年、10年と時間をかけて、ゆっくりと回復していきます